

上田図書館倶楽部だより



ueda.zuku.jp

令和5年
10.11.12月号

発行：NPO 法人上田図書館倶楽部
https://ueda.zuku.jp/
0268-25-3115



私たちは上田情報ライブラリーを拠点として
図書館と市民との協働により
”市民参加による幅広い図書館サービス”を
実現するために様々な活動をしています



教育委員会との懇談

10月6日に教育次長、生涯学習課長、情報ライブラリー館長との懇談会を行いました。倶楽部の参加者は正副理事長、各部長、そして事務局の7人でした。

来年少足から20年を迎える上田図書館倶楽部の設立理念・経過、情報ライブラリーのコンセプト実現のための活動の状況や、事業を計画運営する上での思い・成果を伝えました。教育次長からは、日頃の活動に対して感謝が述べられ、今後の協力についてもご理解いただき、有意義な懇談会となりました。

コカリナコンサート

9月23日(土) まだ暑さの残る夕べ、コカリナ演奏グループ「れんげ畑」を迎えて「麦とひまわりの大地に馳せる」と題したコンサートをを行いました。

「れんげ畑」の皆さんは去る9月8日に千曲市においてウクライナの子どもたちを支援するコカリナコンサートも開いておりその時の様子も会場の皆さんにお話ししていただきました。プログラムはウクライナの歌と懐かしい秋の歌などで、コカリナの音色を楽しむことができました。参加者からは「ウクライナの子どもの話は涙してしまいました」

ました。平和は当たり前ではないんだと痛感しました。貴重な体験をされているコカリナのメンバーをまた応援したくなり「たくさんのリズムの曲が聞けて良かった。ウクライナの早い平和を祈っています」「ウクライナの歌、子守歌、民謡は真に心に響き、感極まりました。コカリナ音楽の奥深さ、良さに改めて気付かされました」「ウクライナの民謡、子守歌は何かを訴えている感じを受けました。感動的でした」「コカリナの美しい音色にウクライナの悲しい現実が重なり感動しました」といった感想が聞かれ、来年も・・・という声を多くいただきました。

情報活用サポート

11月	1日水	10時～12時	12月	6日水	10時～12時
6日月	13時～15時	8日金	13時～15時		
13日月	10時～12時	11日月	10時～12時		
15日水	10時～12時	18日金	13時～15時		
17日金	13時～15時	20日水	10時～12時		
18日土	13時～15時	22日金	13時～15時		
22日月	13時～15時	27日月	13時～15時		

★「デジとよ信州」の案内
情報活用サポートで実際にアクセスして具体的に説明します。上田情報ライブラリーのオープンWIFIも使えます。

イベントのお知らせ

イベント会場・問合せは上田情報ライブラリー 0268-29-0210

★ビブリオバトル

～おすすめ本の紹介イベント～
日時：11月5日(日) 13時30分～15時
料金：無料
Zoomでの参加も可

★「晩秋の夕べコンサート」

～ピアノとハープの音色にのせて～
日時：11月18日(土) 18時45分～20時
出演：ピアノ(山極遥香)
ハープ(竹内遥香)

演奏曲：映画音楽メドレー・赤とんぼ他
料金：1000円(当日1200円)
高校生以下無料

定員：60人(先着順)
申込：10月23日(月)より受付

★大人が児童文学を楽しむ朗読会

日時：12月9日(土) 18時45分～20時
出演：伊藤博敏
作品『あるはれたひに』
きむらゆういち/作

『注文の多い料理店』

宮沢賢治/作 他

料金：1000円(当日1200円)

高校生以下無料

定員：60人(先着順)

申込：11月20日(月)より受付

★おはなしの会

日時：11月11日(土) 12月16日(土)
時間：11時～11時30分
料金：無料
申込：不要

サマーナイトコンサート

令和5年7月15日

汐入規予+相良博&山田や得意のアカordeイオンの演和矢 duo によるサマーナイ奏。さらにギター、ドラムストコンサート。汐入さんは、の迫力も加わり、NHK大河ドラマ「真田丸」の夜の祭典となりました。の年の衣装、陣羽織を身に着参加者からは「サンバの元けての登場でファンの皆さんうなしつとりした曲で楽しくあつという間の夏の夜の夢でした。規予さんは思ったとおりの魅力的な方、相良さんのギターも山田さんのドラムもとてもステキでした」などという声が聞かれました。



読み聞かせとアイリッシュハーブ演奏

令和5年8月19日

読み聞かせ福田義子さん、アイリッシュハーブの演奏吉田清子さん、文字どおり「2

した。

プログラムは、懐かしい曲

上田図書館倶楽部 イベントカレンダー	
令和5年11月～12月	
毎週 (火)	上田情報ライブラリー休館日
11/2 (木)	上田情報ライブラリー休館日
11/5 (日)	ビブリオバトル
11/8 (水)～10 (金)	上田情報ライブラリー休館日
11/11 (土)	おはなしの会
11/12 (日)	絵本講座
11/18 (土)	晩秋の夕べコンサート
11/24 (金)	上田情報ライブラリー休館日
11/26 (日)	絵本ゼミ
12/1 (金)	上田情報ライブラリー休館日
12/9 (土)	大人が児童文学を楽しむ朗読会
12/10 (日)	絵本講座
12/16 (土)	おはなしの会
12/28 (木)～12/31 (日)	上田情報ライブラリー休館日、1月は4日まで休館



おはなしの会

令和5年9月2日

読み会の「稲穂」によるおはなしの会。テーマは「いいことあるかな、わくわく・どきどき！」取り上げた本は『じてんしゃのれるかな』『パバ、お月さまとって！』（大型絵本）『おめんです2』『おじいさんとおばけ』（紙芝居）で、参加者は子ども6人大人4人でした。

参加されたお子さんは比較的年齢が低かったので参加型にして会話をしたり、間に体操などを入れたり、少し難しい内容の本は順番を考えたり工夫しながら行ないました。子供たちも興味深かったのか、じつとしてよく聞いてくれました。

コラム

上田郷友会月報 番外編

「うんまん」に見る当時の東京大学

9月までNHKで放送されていた朝ドラ「うんまん」ですが、モデルとなった牧野富太郎博士は山極博士の一歳上で、同じ時期に東京大学に出入りしていました。直接の関わりは無かったと思われませんが、当時の東京大学の様子が描かれているたいへん興味深いドラマでした。仲間たちと植物学雑誌を創刊していましたが、郷友会月報の創刊はその二年前でした。当時学生たちの間で雑誌の創刊が流行っていたのにもかかわらず。当時一流の学者になるためには海外留学が必須で、ドラマで留学生が外国で差別を受けたという描写がありました。コラム其の

四で書いた「首筋に臓物の標本をこぼされた話」も、もしかすると嫌がらせだったのでは？と勘ぐっていました。ドラマでもう一つ興味深かったのは、版の右に直接絵を描いて自分で印刷する石版印刷です。放映中に上田情報ライブラリーで所蔵している当時の出版物の展示がありました。その絵を見ると細い線がきれいに印刷されており、現代の印刷と比べてもその精度の高さは驚くべきものでした。ちなみに昭和63年7月の「郷友信濃」第四八三号に「植物を愛して、植物から教えられること」と題した牧野博士の文が掲載されています。

図書館倶楽部会員を募集中

ご一緒に図書館をよりよい場所にしていましょ。
会費：一般会員 3,000円/年
特別会員 10,000円/年
お問い合わせは倶楽部事務局
0268-25-3115 までお願いします。

図書館の中にある喫茶店 BookCafe つつじ 営業中

飲み物を用意しておまちしています。

編集後記

10月6日に行われた教育委員会との懇談、あいにく教育長は所用で欠席でしたが、教育次長はじめ関係の職員のみなさんとゆつくりお話しすることができました。コロナ禍により久しく途絶えていた懇談会、やはり顔を合わせて思いを伝えあうことで相互理解が進むことを実感しました。

上田図書館倶楽部だより

とく 第七一号

発行日：令和五年十一月一日

発行：NPO法人上田図書館倶楽部

住所：三八六-〇〇二五

上田市天神一八一

上田情報ライブラリー内

電話/FAX

〇二六八-二五-三一五